

あなたの声を議会に...



No.128

(年4回発行予定)

令和3年8月15日発行

市議会だより



写真提供：マリンパークたるみず（道の駅たるみずはまびらに隣接するマリンレジャースポット）

目次

【令和3年第2回臨時会】	
【令和3年第2回定例会】	2～
常任委員会審査結果	4～
一般質問	6～
議案等の審議結果	12～
庁舎整備検討特別委員会	15
令和3年第3回定例会日程案	
編集後記	16

発行／垂水市議会
 編集／垂水市議会だより編集委員会
 鹿児島県垂水市上町114番地
 Tel 0994-32-1111（内線358）
 メールアドレス
t_gikai@po.city.tarumizu.kagoshima.jp



垂水市議会
ホームページの入り口

令和3年
第2回臨時会

一般会計補正予算 (第2号) (案) 可決

一般会計予算総額 109 億 9,706 万円

第2回臨時会は、5月7日の会期1日で開かれ、議案11件と報告3件が審議されました。

報告では、特別交付税及びふるさと応援寄附金の確定に伴い、令和2年度内に行う各基金への積立てに急務を要したために専決処分された一般会計補正予算(第16号) 2億6043万円をはじめ、子育て世帯生活支援特別給付金に係る令和3年度一般会計補正予算(第1号)、地方税制の改正に併せた垂水市税条例の改正等を承認しました。

また、PCR検査費用等の一部助成や、水産業者・商工業者への持続化給付金、水産物PR販売促進対策事業補助金など、国及び本市独自の新型コロナウイルス感染症対策に係る一般会計補正予算(第2号) 8291万円の増額は、採決の結果、賛成多数で可決されました。

※審議結果は12ページに掲載

※その他、各常任委員会や特別委員会等の選任が行われました。

詳細は、議会だより127号または垂水市ホームページをご覧ください。

～令和3年度一般会計補正予算(第2号)の主な事業～

PCR検査業務委託料等

195万円

PCR検査や抗原定量検査費用等の一部を助成するもの

商品券事業補助金

3,795万円

全世帯を対象にプレミアム付商品券を販売するもの

一般会計補正予算(第2号) 8,291万円

持続化給付金(商工業者)

2,365万円

売上減少の要件を満たした商工業者に、1事業者5万円を給付するもの

持続化給付金(水産業者)

1,420万円

売上減少の要件を満たした水産業者に、1事業者5万円を給付するもの

令和3年
第2回定例会

一般会計補正予算 (第3号) (案) 可決

白山林道地すべり災害復旧工事に1億3,400万円

第2回定例会は、5月28日から6月21日までの25日間の会期で開かれました。

定例会では、14件の議案や報告、請願や陳情が審議されました。

白山林道地すべり災害復旧工事や新型コロナウイルス感染症対策、図書館工事等の一般会計補正予算(第3号)3億1,273万円をはじめ、コスモス苑の感染症対策強化に係る老人保健施設特別会計補正予算(第1号)、垂水中央病院の感染症対策強化に係る病院事業会計補正予算(第1号)などが可決されました。

また、低所得の子育て世帯(ひとり親子育て世帯除く)への生活支援特別給付金に係る一般会計補正予算(第4号)906万円が可決されたほか、人事案件2件(固定資産評価審査委員会委員の選任・農業委員会委員の任命)が同意されました。

※審議結果は13ページに掲載

一般質問では10名の議員が登壇し、執行部と論戦を交わしました。

※各議員の一般質問は6ページから掲載

～令和3年度一般会計補正予算(第3号)の主な事業～

地すべり災害復旧

1億3,400万円

白山林道の地すべり対策工事や道路復旧工事の経費

図書館改修費

6,430万円

市立図書館の空調・照明の改修工事や、電圧切替工事の経費

一般会計補正予算(第3号) 3億1,273万円

法面工事(中俣高峠地内)

2,000万円

中俣高峠地内の林地崩壊に伴う法面工事の経費

道路改良工事

1,320万円

市道4路線の舗装工事・排水路設置工事の経費

産業厚生委員会

6月14日に産業厚生委員会が開催され、5月28日・6月10日の本会議において付託された議案について審査されました。審査の際の主な質問と回答について紹介します。また、当日は各事業の状況を確認するため現地視察を実施しました。

令和3年度垂水市一般会計 補正予算(第3号)案

付託内容

委員会所管の事項で、老人保健施設コスモス苑に新型コロナウイルスの対策費の繰り出し、自殺対策費用、清掃センター等で従事する職員の熱中症予防等の費用、千本イチョウ祭りに関する委託料などを審査した。

主な質疑

問 コロナ禍のなか、健康チェックの実施について議論されたのか。

答 鹿児島大学と協議の上、7月末に高齢者のワクチン接種の2回目を終了予定であることから、その後の実施が望ましいこともあり、当初の日程を変更し実施とした。

問 市単独事業である荒廃農地再生促進事業の助成金の増額と採択要件の緩和について。

答 本市でも農業者が減少していく

中、荒廃農地再生に取り組んでおり、助成金については、県内調査を行いたい。また、採択要件についても本年度から緩和し、運用しているところである。

令和3年度垂水市一般会計 補正予算(第4号)案

付託内容

ひとり親世帯を除く低所得の子育て世帯に対して、児童1人あたり5万円を給付する子育て世帯生活支援特別給付金の支給に要する経費。支給対象者数は、176人を見込む。

令和3年度垂水市老人保健施設 特別会計補正予算(第1号)案

付託内容

新型コロナウイルスの全国的な感染拡大と

これまでよりも感染力の強い変異株の拡大を踏まえ、老人保健施設コスモス苑に感染対策用品等を追加購入するための費用。

令和3年度垂水市病院事業 会計補正予算(第1号)案

付託内容

新型コロナウイルスの全国的な感染拡大と変異株の拡大を踏まえ、垂水中央病院内の設備等を追加で整備し、更なる感染対策強化を図る費用。

現地視察

【的場地区農地災害復旧工事】



高城的場地区(水之上)

令和2年7月の梅雨前線豪雨により山腹法面が崩落し、土砂が農地に埋没した的場地区の復旧状況を視察。農地・施設の復旧は、令和3年5月に完了し、令和3年の作付けに間に合った模様。

【放課後児童クラブ整備事業】



水之上児童クラブ

水之上小学校敷地内に整備された水之上児童クラブを視察。総事業費5512万円、木造1階建ての建物面積103.5㎡で、令和3年2月に完成。公益社団法人垂水市シルバ人材センターに委託し、常時3名の支援員により運営されている。定員は30名で、現在26人の児童が登録しており、1日当たり平均17人が利用している。

総務文教委員会

6月15日に総務文教委員会が開催され、5月28日・6月10日の本会議において付託された議案について審査されました。審査の際の主な質問と回答について紹介します。また、当日は各事業の状況を確認するため現地視察を実施しました。

垂令和3年度垂水市一般会計
補正予算(第3号)案

付託内容

委員会所管の事項で、ふるさと納税制度事業、新庁舎整備基本条件調査研究委託料、図書館の空調・照明の改修費、国体に関する備品購入費などを審査した。



垂水市立図書館

主な質疑

問 図書館の空調・照明等の工事について、工期はどのくらいか。その期間中は休館になるのか。

答 工期は、令和3年9月から令和4年2月までの予定(最長6か月)。この期間は休館になるため、貸出業務の方法や場所などは協議中である。(後日、社会教育課が市報で周知する予定)

問 国体の備品関係で、あとどれくらい予算が必要か。

答 国体開催にはあと4セット必要であり、令和4年度まで毎年2セット、令和5年度は予備分として2ピストを予算計上したい。

◎ピストとは

フェンシング競技における試合場(床面)のことです。

ピストは幅1.5m×2m、長さは14mが規定サイズです。

現地視察

【GIGAスクール事業】

GIGAスクール構想により、市内各小・中学校で校内LANや1人1台のタブレット整備等が実施されたことに伴い、協和小学校の授業風景を視察。当日は、各学年で計算や



パソコン授業のようす(協和小)



フェンシング会場

【総務省事業…協和地区】

図形の学習、俳句や短歌づくりなど、指やタッチペンでの巧みな操作や画像のダウンロードといったICT教育の推進が図られていた。

令和2年度に総務省事業「過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業」を実施した協和地区の実施箇所を視察。総事業費821万7千円が国の100%補助事業で実施されていた。海潟温泉看板やまち巡りマップなどによる地区外へのPRに加え、地区内で交流の輪を広げる活動など、地区公民館を中心とした取組の説明があった。



協和地区アピール画(海潟さくら公園)

令和3年 第2回定例会

一般質問

10議員が登場!

新型コロナ対策実施中
(マスク着用・アルコール消毒・換気)

市政を問う



第2回定例会において、10名の議員が一般質問を行いました。

※掲載内容については、質問と答弁の要旨を質問者の文責により掲載しています。詳細な内容については、市役所3階情報公開室や図書館等にありますが“会議録”をご覧ください。会議録は市役所ホームページからもご覧いただけます。

10番	9番	8番	7番	令和3年6月11日	6番	5番	4番	3番	2番	1番	【質問者】 ※質問順
感王寺 耕造 議員	川畑 三郎 議員	持留 良一 議員	北方 貞明 議員		梅木 勇 議員	森 武一 議員	前田 隆 議員	池山 節夫 議員	新原 勇 議員	堀内 貴志 議員	令和3年6月10日
P11	P10	P10	P9		P9	P8	P8	P7	P7	P6	



堀内 貴志 議員

コロナワクチン接種状況と今後の見通しについて

問 65歳以上の方々に対するワクチン接種が着々と進んでいる中で、全国的に見ると副反応が出ているケースもあるが、本市の状況はどうか。
また、64歳以下の方々に対する接種見通しについて伺う。

答 これまで接種部位の痛み等の軽度な症状はあるものの、重篤な副反応や診療に至る件数はないと報告を受けている。
接種対象者については、厚労省専門部会においてファイザー社ワクチンが12歳からの接種を承認したことで、予防接種の実施についての指示が改正された。

今後の接種見通しは、まずは65歳以上の皆様について7月末までに接種を完了させることが重要である。その後には次の優先順位となる基礎疾患を有する方、高齢者施設等の従事者、その他の市民の皆様という順にスムーズに行えるように、肝属郡医師会の専門的な意見を伺いながら、ワクチンの供給体制や予約方法、接種会場などの協議を重ね、接種を希望する方が、安心して接種できる体制づくりに努めていく。

庁舎に関する新たな外部検討委員会の在り方

問 新たな委員会は、学識経験者の増強で専門性が増し、また、一般公募枠を設けて厳正な審査の上で適切な人を選考したことで十分に評価できる委員会構成になったが、前回の執行部案に反対した団体の関係者は入っていないのか。

また、県の命令に従い現庁舎の耐震診断をすることになるが、現庁舎を使用し続けた場合の施設整備項目について伺う。

答 当該団体の関係者に対して、募集締切りの案内もしたが、入っていない。
施設整備、長寿命化については、今後、どの程度使用するかという条件の下で、防災拠点としての「機能面」、エレベーターの設置やバリアフリー化等の「利便性」、電気設備(照明のLED化)や空調設備等の「維持管理面」の大きく3つの視点で検討が必要である。

今後、外部検討委員会の意見や議会(特別委員会)での議論を踏まえ、庁舎の在り方について慎重に検討していくことになる。

【その他の質問】

○学校における感染症対策は



新原 勇 議員

本城川の寄り洲除去の状況は

問 今川原橋から下本城橋付近まで中州や寄り洲が堆積し、住民が大雨時の災害を危惧している。今年度の進捗状況と水位以下の掘削が可能か伺う。

答 平成28年度から令和2年度までの実績として、合計9万2760㎡、大型ダンプトラックに換算すると1万5500台の寄り洲を除去した。要望については4月25日の知事とのふれあい対話終了後、本城川の寄り洲状況を現地視察して頂き、さらなる予算化と実施要望を県知事に行った。今川原橋・上本城橋・下本城橋付近3か所は、8〜9月に工事発注予定である。

水位以下の掘削除去については、平成18年に多自然川づくり基本方針が策定され、河川が本来有している生物の多様な河川環境の保全の為、水面から30cm程度残し除去している。



本城川

児童広場の死角と武道館のトレーニング機器について

問 児童広場は体育館の裏側で周囲から死角となっており、不審者が出て対応できない。文化会館側整備の考えはないか。また、武道館のトレーニング機器は経年劣化で使用できないものもあるが、更新する考えはないのか。

答 防犯対策や景観上、文化会館前民有地の雑草等除去は大事なことから考えているが、民有地の為、生活環境課と協議を行い、所有者に協力をお願いしたい。トレーニング機器は、今後の利用者からの要望を参考にしながら、更新等を検討する必要があると考える。

防犯カメラ設置について

問 児童広場は死角も多く、公園内の器具使用での事故・けが等想定されるが、防犯カメラの必要性について伺う。

答 防犯カメラの設置により、利用者の安全安心につながり、また防犯抑止やトラブル防止など効果があると考え、まずは現在行っている巡回の回数を増やすなどの方法により、対応を行っていききたい。

【その他の質問】

- 避難所について
○ワクチン接種について



池山 節夫 議員

元垂水地区の防災面の必要性から臨港道路建設に向けた議論を！

問 道の駅たるみずはまびらもオーブンし、交通量も増えつつあると思いが、再度臨港道路建設に向けた議論を行い、県に願うべきと考え、見解を伺う。

答 潮彩町から荒崎までの臨港道路については、物流機能の向上や交通混雑回避及び元垂水地区の防災面の必要性から計画され、様々な議論がなされたが実現せず、今日に至っている。まちづくりや元垂水地区の防災面からの計画について、一定の必要性は認識しているが、様々な議論の状況を踏まえ、今後の取組を考えていく必要があると思っている。

錦江湾横断道路について

問 大隅の悲願である錦江湾横断道路建設に向けて議論を活発化し、行政と議会が一丸となって建設の機運を盛り上げる必要があると考えるが、市長の見解を伺う。

答 平成16年から現在まで50回にわたり推進のための活動を行っている。現在は、地元代議士の先生と連携し、歴代の知事や関係首長の皆様方とも

協力して、国土交通省や財務省などへ必要性を訴えながら実現に向け、努力を重ねているところである。今後粘り強く取り組んで、実現へ向けて努力を重ねていきたい。

垂水市新庁舎整備基本条件調査委託費について

問 垂水市新庁舎整備基本条件調査委託費によって、現在地での「新庁舎建設を考える会」のプランが50億あるいは60億円かかるという試算がもし出た場合に、今後の個別設計画全体に影響を及ぼし、計画の見直しが必要になると考えるが、見解を伺う。

答 前の外部検討委員会の提言では、「新庁舎建設を考える会から、現庁舎敷地と市民館敷地に対するプランが提案されていることから、その実現性について、まず確認を行う必要がある。」とあった。この提言に基づき、新たに設置された外部検討委員会でも2つのプランの実現性の確認を行う必要があり、事業費を算出する仕様書作成の調査研究を想定しているところである。

なお、今回の調査研究委託業務では、考える会から示された2つのプランの事業費までは分からない。

【その他の質問】

- インボイス制度について
○わいせつ教員対策法成立について



前田 隆

議員

人口減少対策 移住促進事業の現況

問 移住人口を増やすため、空き家バンク移住促進事業等3事業を実施しているが、令和2年度の実績とその結果をどう評価し、今後の取組に活かしていくか伺う。

答 移住実績は3事業合計で16世帯34人である。実績の評価については、事業を活用された方はいずれも増加傾向であり、一定の成果が出ていると考える。今後も更なる利用促進を図り、移住定住に注力したい。

「特定地域づくり事業協同組合」の検討とフェリー代等の補助を

問 地方への移住促進策として、「特定地域づくり事業協同組合」が全国で展開されている。本市も移住促進と人手不足解消、人材確保に寄与するこの事業を検討してはどうか。

また、薩摩川内市は新幹線代を補助して移住促進を図っている。本市もフェリー代等の通勤補助で移住促進を図ってはどうか。

答 特定地域づくり事業協同組合は、地域の担い手確保や地域の活性化を目的にしており、先進自治体の情報収集と本市における優位性を見極め、市内事業者に情報提供などを行い、必要に応じて関係者と協議していきたい。

フェリー代補助については、補助事業を実施した場合、既存の移住促進事業と組み合わせることで、より既存事業が活用される可能性はあるが、補助金額の妥当性やバス・自動車通勤の方々の平等性等考慮し、適用範囲など慎重に検討する必要があると考える。

A-1 婚活で婚姻率のアップを

問 県のA-1婚活成婚支援事業に近隣市と連携して取り組み、婚姻率のアップを図ることを提案するが、見解を伺う。

答 議員提案の「かごしま出会いサポートセンター」のサテライトオフィスをがりナシティかのや内に設けられており、運用のノウハウや垂水市の方々の登録件数など情報収集を行い、連携・協力して進める「大隅定住自立圏」の自治体の動向も聞きながら検討する必要があると考える。

【その他の質問】

○桜島・錦江湾ジオパークエリア拡大と高隈山・猿ヶ城溪谷
○本市の農業担い手について



森 武一

議員

子どもの権利としての養育費・面会交流の取組について

問 子供の貧困において養育費は、子供の成長に欠かすことができない費用、子供の権利である。また、面会交流についての取決めも子供の成長のためには重要である。しかし、この養育費と面会交流の取組については、取決めを行わなかったりすることが多いと聞く。この部分に関して行政としての慎重なアプローチ、継続的な取組が必要になってくる。そこで、まずはできるところから進めていくために総務局作成の養育費・面会交流に関するパンフレットを離婚届に織り込むことができないか伺う。

答 窓口には、離婚届に併せてパンフレットを挟むことについては経費のかかることではないので、早急に実施したい。

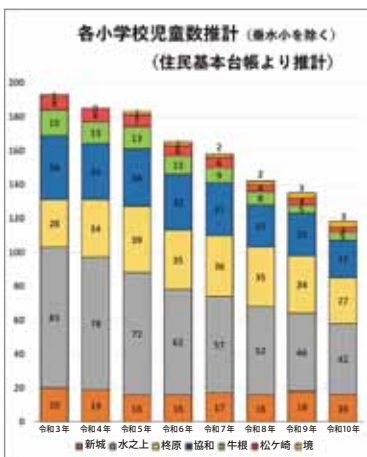
今後の小学校の在り方について

問 昨年12月議会で明らかにしているが、本市の傾向として、子供の数は漸減してきており、特に牛根3校においては、令和9年度には3校合わせても12人となる。今後の牛根3校並びに全市的な方向性についてどのように考えているのか伺う。

答 保護者、地域の方々の意見交換等を進め、意見等を伺わせていただき、保護者と地域の方々総意のもと、よりよい小学校の在り方につなげていきたいと考えている。

問 子供の数がどんどん減り、垂水市全体としても減っていく、この現状を市民は知らないのではないかと。生徒数について市民へ伝える必要がある。その上で、今後の方向性について地域住民の方々お一人お一人を考え、話し合いの場で合意形成が図られていくと考えるが、今後の生徒数の推移について市から市民へ伝えるか伺う。

答 地域がどのように未来を描くかということも重要だと思う。公民館が地域に伝え、取りまとめてベースをつくっていただいた上で、足りないということであれば、併せて話し合いをしながら、どういう地区あるいは小学校のあり様が必要なのかということを考えながら進めていきたい。



○産後ケアの拡充について



梅木 勇 議員

市木地区の災害対策について

問 災害箇所は早期に復旧されなければならぬが、平成28年の台風16号により山崩れが起きた下市木自治公民館南側、城山地区の災害復旧取組を伺う。

また、山崩れが心配される下市木3区ごみステーション前と中市木の要望箇所、昨年山崩れの元垂水北迫の復旧推進状況を伺う。

答 城山地区の復旧について、県から提供された事業計画では、崖高72m傾斜度30度の急傾斜で、斜面下部に近接した人家10戸が危険な状況にあることから、事業の実施計画は令和2年度から7年度で、本年度より工事に着手し、斜面下部に擁壁工を200m施工し、斜面については現場吹付のり砕工が計画されている。

要望箇所の中市木は



市木 城山地区の山崩れ

県へ要望書を提出しており、地権者から同意がいただけるよう交渉していく。下市木3区ごみステーション前と元垂水北迫の山崩れは、1年でも早く工事ができるよう、県へ強く要望していきたい。

新型コロナウイルス影響による営農支援について

問 さきの第2回臨時会に、新型コロナウイルスの影響による支援として、水産業者・商工業者への持続化給付金事業が上程された際、農業者への支援は考えられなかったのかと質疑したが、今回、農業者にも配慮した施策「営農継続緊急支援給付金事業」の議案が上程されたが、事業の内容を伺う。

また、周知の徹底をお願いしたい。

答 令和2年分の税の申告が、平成30年分または令和元年度分の申告と比較して、農畜産物の販売額が20%以上減収し、販売額が50万円以上の販売農家が対象となる。その他、市税の滞納がない等を要件として、給付金は一律5万円としている。

市のホームページ、市報等で周知し、7月1日より農林課で申請受付を開始する予定である。申請期間は8月31日までとし、9月までに振込給付する予定である。

【その他の質問】

○家屋全棟調査について



北方 貞明 議員

住民投票から10か月
市長、C案はないと判断

問 新庁舎について、私は3月議会の一般質問で、外部検討委員会からの意見書では、新庁舎建設場所は現市役所と市民館、旧フェリー駐車場と、これ以外の場所を検討するとの意見書が提出されたが、新たな新庁舎計画でも旧フェリー駐車場も建設候補になるか？と質問した。その答弁は、「住民投票の結果を踏まえ、旧フェリー駐車場での建設の可能性は低いと認識している」と答弁され、4月6日の新聞で「新庁舎海沿い除外、市民団体と初面会にて明言」と報道されたが、経緯について市長は市民に対して、旧フェリー駐車場の建設は断念と市広報誌で知らせていないが、7月号での市長コラムまたは市長メッセージで知らせる考えはないのか。

答 3月12日提出された外部検討委員会の提言を踏まえ、C案（旧フェリー駐車場跡地）はないと判断した。前回の質問時は、外部検討委員会の正式な意見書が提出されていなかった。市民の皆様方には、今後速やかに広報誌やホームページを活用してお知らせしたい。

ごみステーションについて

問 ごみ出しは各集落の指定場所に決まった日に、分別ごとに出している。高齢化が進む中、場所まで遠く、分別やごみ出しに苦慮しているお年寄りが多いのも事実である。このようなことを考えると、ごみ出し場所の増設または隣接する集落に出すことはできないか。ごみステーションの場所は公有地等を使用している集落もあれば、民間の用地を使用している集落もあれば、民間の用地を使用している集落もあれば、このような集落に対して市からの補助、助成はできないか。

答 ごみ出しに支障を来している振興会には増設している。隣接する振興会のごみステーションが近い場合は、隣接振興会に出せるよう、振興会同士で協定を結んでいるところもある。ごみステーションとして、公有地等を減免や無償で借用している集落もある一方、民有地については借地料を払っている集落もある。

関係課と協議し、どのような対応ができるか考えていきたい。

【その他の質問】

○道の駅たるみずはまびらについて



持留 良一 議員

ワクチンの安全・迅速な接種、検査の拡充を

問 コロナ封じ込めを戦略目標にすえ、ワクチンの安全・迅速な接種、検査の充実・拡充、生活支援で対策を強化することである。「コロナ封じ込め対策」の戦略的対策はあるのか。

答 高齢者施設等の従事者や入所者に対する幅広い検査の積極的実施については、行政検査を行っている都道府県が主体となって実施していかなければならないものと考ええる。市としては、市民一人ひとりにおいて基本的感染対策をとっていただくことはもとより、感染症について感染しやすい場面はどこなのかなど、正確な情報の適時周知を図っていくことだと考える。

だれもが取り残されないための避難体制づくりを

問 要支援者の避難支援計画の策定は進んだか。また、課題は何か。

答 個別支援計画は、現状では、一部の同意をいただいた方のみ作成を行っている。課題については、個別

支援計画作成の条件となる「名簿情報を提供することに同意すること」がプライバシー保護の観点から作成の障害の一因となっている。避難行動支援者本人に郵送や戸別訪問するなど直接働きかけることにより、平常時から名簿情報を支援等関係者に提供することの必要性について説明し、意思確認を行う必要がある。

子どもたちの権利、個人の尊厳を大切にす教育を

問 校則問題を今日、どのように考え、どのように取り組んでおられるのか、必要性和視点についてどのように考えているのか。取組の視点は、みなんで考え、解決方向を見つけていく方向ではないか見解を問う。

答 全国的にブラック校則が取り上げられ、校則や学校生活の決まりの見直しの機運が高まっている。今年3月に校則や学校生活の決まりの見直しについて通知を出し、これまでの慣例や考え方に縛られず、人権やプライバシーに配慮し、決まりの意を児童生徒や保護者に納得できるように説明できるかの視点で見直しをするように指示したところである。

【その他の質問】

- 「生理の貧困問題」への対応
○避難所と避難生活での「ジェンダーの視点」の取組
○水道検針員の待遇改善の必要性



川畑 三郎 議員

新型コロナで販売が減少力を入れよう販売促進に

問 漁業振興について、今年度の水産関係事業の主な内容は。

答 種子島周辺漁業対策事業で垂水市漁協の餌用冷凍庫の整備を、輸出等対応施設整備事業で民間加工事業者が冷凍設備の整備を、漁港整備事業で海潟漁港の防波堤整備と高潮対策、牛根麓漁港の岸壁整備並びに浮桟橋の設置を計画している。市単独事業として、漁業施設整備支援事業で牛根漁協の牛根麓漁港内船揚げ場台車レールの改修、6次産業化施設整備事業で垂水市漁協の加工場衛生管理用運搬ボックスの購入、牛根漁協の力キ洗浄機を購入する。

新型コロナウイルス感染拡大で販売に影響が出たカンパチ・ブリは、緊急的に販売を促進する国の品目横断的販売促進緊急事業を実施している。カンパチは漁協や関係商社を中心に、大都市圏の大手量販店向けの販売促進キャンペーンや県内並びに埼玉県への学校給食向けの出荷を行い、ブリについては、漁協、加工事業者、関係商社並びに大都市圏の販

売先が連携し、年末年始を中心に販売促進キャンペーンを実施した。もじゃこ魚は、流れ藻の浮遊が例年より減少し、5回の延長を重ねて6月5日までと過去最長の68日間となった。県全体で計画の4割、本市においては約5割と不漁であった。

コロナ対策支援事業について

問 水産関係事業分の内容と、その実施について伺う。

答 持続化給付金は、両漁協の事業を対象に事業継続を支援するため、1事業者5万円を給付するものである。その他、水産物PR販売促進対策事業や水産物給食食材供給事業により、水産業者の支援対策に努めていきたい。

防災対策について

問 大雨・台風に備えての対策は。

答 梅雨入り前の5月8日に総合防災訓練を実施した。また、避難情報が発令方法が変わったことを広報誌等で周知し、市道の点検ハトロール、例年より早めの河川点検等を実施した。市内10か所の農業用ため池施設のうち、県が災害リスクの高い「災害重点ため池」に選定した5施設は、浸水想定区域図を示した防災ハザードマップを作成するなど、災害防止の周知に努めている。



感王寺 耕造 議員

コロナ禍の避難について

問 コロナ禍の避難所運営では、感染対策に重きを置くのか、それとも災害対策に重きを置くのかという考え方・方向性の問題がある。感染と災害のリスク、双方を抱える状態だが、避難所の設置数は十分なのか。また、定員超過のときはどうするのか伺う。

答 垂水市地域防災計画における災害対応の指定避難所の設置数は、第1次避難所で12施設、予備避難所で10施設、計22施設ある。予想される災害の状況により、開設する避難所を増減する。

収容人数を超えた避難所での受入れについて、風雨が強まっている間は、けが等のリスクもあるため、新型コロナウイルスの感染予防策を行った上で、そのまま留まってもらうことも考えられる。

問 避難所での密集を事前に避ける方策として、スマートフォン等を活用する考えはないのか。

答 現在、垂水市で行っている情報伝達の方法として、防災行政無線やFMたるみずによる割り込み放送等

がある。また、文字情報としては垂水ほっとメールを活用しており、登録者のスマートフォン等に電子メールが届く仕組みとなっている。このほか、市ホームページの災害対策本部等の情報をスマートフォンで閲覧することも可能なため、最新の避難所情報を確認できる。現在、新システムの導入予定はないが、導入している近隣市等から情報収集し、運用上の利点や課題を調査していきたい。

治山工事について

問 治山工事の優先順位は、ポイント制を導入するなど、市民の理解を得るために見える化を図る必要があると考えるが、見解を伺う。

答 大隅管内4市5町で、ポイント制を導入しているのは鹿屋市のみで、その他市町は本市と同様に、緊急性や保全対象を考慮するとともに、県の視察結果を参考に決定している。本市は7月に県の視察を依頼しており、現地要望箇所の視察の結果等を参考にしたいと考えている。

また、ポイント制の導入については、さらなる検討が必要になるが、前向きに検討していきたい。

【その他の質問】

○犬・猫の多頭飼育について
○公共物・屋外設置物・農機具等の盗難について

賛否が分かれた議案について (○：賛成、×：反対)

氏名	審議結果																
	新原 勇	森 武一	前田 隆	池田 みずず	梅木 勇	堀内 貴志	川越 信男	感王寺 耕造	持留 良一	北方 貞明	池山 節夫	徳留 邦治	川畑 三郎	篠原 静則	○ 賛成	× 反対	
議案番号・議案件名																	
議案第32号 令和3年度垂水市一般会計補正 予算(第2号)案	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	※議長のため表決には参加しない	12	1	原案可決

令和3年第2回臨時会に提案された件名と結果一覧

番 号	件 名	内 容	審議結果
報 告 第2号	専決処分の承認を求めることについて (令和2年度垂水市一般会計補正予算(第16号))	市有施設整備基金及びふるさと応援基金の積立基金への予算措置や、繰越明許費の補正等	承 認
報 告 第3号	専決処分の承認を求めることについて (令和3年度垂水市一般会計補正予算(第1号))	子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親子育て世帯に対して、児童一人当たり5万円を給付)に係る増額補正	承 認
報 告 第4号	専決処分の承認を求めることについて (垂水市税条例等の一部を改正する条例)	令和3年度の地方税制の改正に伴う文言修正など、法律改正に併せて改正するもの	承 認
議 案 第32号	令和3年度垂水市一般会計補正予算(第2号)案	国及び本市独自の新型コロナウイルス感染症対策に係る増額補正	原案可決
議 案 第33号	垂水市農業委員会委員の任命について	池田穰二氏を農業委員に任命するもの	同 意
議 案 第34号	垂水市農業委員会委員の任命について	村山繁稔氏を農業委員に任命するもの	同 意
議 案 第35号	垂水市農業委員会委員の任命について	下瀬 秀氏を農業委員に任命するもの	同 意
議 案 第36号	垂水市農業委員会委員の任命について	瀬角初美氏を農業委員に任命するもの	同 意
議 案 第37号	垂水市農業委員会委員の任命について	葛迫 巧氏を農業委員に任命するもの	同 意
議 案 第38号	垂水市農業委員会委員の任命について	重吉伸哉氏を農業委員に任命するもの	同 意
議 案 第39号	垂水市農業委員会委員の任命について	塚田光春氏を農業委員に任命するもの	同 意
議 案 第40号	垂水市農業委員会委員の任命について	永吉浩幸氏を農業委員に任命するもの	同 意
議 案 第41号	垂水市農業委員会委員の任命について	森 千秋氏を農業委員に任命するもの	同 意
議 案 第42号	垂水市監査委員の選任について	川畑三郎氏を監査委員に選任するもの	同 意

令和3年第2回定例会に提案された件名と結果一覧

番 号	件 名	内 容	審議結果
報 告	令和2年度垂水市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	地方自治法第213条に基づき、令和3年度へ繰り越した令和2年度の繰越明許費を報告するもの	—
議 案 第43号	垂水市固定資産評価審査委員会委員の選任について	現委員の森和治氏を再任しようとするもの	同 意
議 案 第44号	垂水市農業委員会委員の任命について	中条裕二氏を農業委員に任命するもの	同 意
議 案 第45号	垂水市議会会議規則の一部を改正する規則 案	本会議や委員会への欠席事由に育児、看護、介護等を明文化し、出産について産前・産後期間にも配慮した規定の整備をするもの。また、市議会に対する請願・陳情に押印を不要とするもの	原案可決
議 案 第46号	令和3年度垂水市一般会計補正予算（第3号）案	ふるさと納税制度事業、新型コロナウイルス感染症対策、道路改良工事、図書館改修工事、白山林道地すべり災害復旧等に係る増額補正	原案可決
議 案 第47号	令和3年度垂水市老人保健施設特別会計補正予算（第1号）案	老人保健施設コスモス苑の感染対策にさらなる強化を図り、集団感染等の防止に係る増額補正	原案可決
議 案 第48号	令和3年度垂水市病院事業会計補正予算（第1号）案	垂水中央病院の感染対策のさらなる強化を図り、院内感染等の防止に係る増額補正	原案可決
議 案 第49号	令和3年度垂水市一般会計補正予算（第4号）案	子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親子育て世帯を除く、低所得の子育て世帯に対して児童一人当たり5万円を給付）に係る増額補正	原案可決
議 案 第50号	令和2年度垂水市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	令和2年度垂水市水道事業会計の剰余金の処分や決算を審査するもの→閉会中の公営企業決算特別委員会で審査することに決定	継続審査
議 案 第51号	令和2年度垂水市病院事業会計決算の認定について	令和3年度垂水市病院事業会計の決算を審査するもの→閉会中の公営企業決算特別委員会で審査することに決定	継続審査
請 願 第5号	選択的夫婦別姓制度導入の意見書提出を求める請願	ジェンダー平等社会を実現し、多様性・個人の尊厳を尊重する政治を築くため、選択的夫婦別姓制度の法制化を求めるもの	採 択
意見書案 第12号	選択的夫婦別姓制度導入を求める意見書 案	上記請願第5号に係る政府への意見書	原案可決
陳 情 第10号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2022年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	「計画的な教職員定数改善の推進」と、教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、「義務教育費国庫負担制度の割合負担を2分の1に還元すること」を求めるもの	採 択
意見書案 第13号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2022年度政府予算に係る意見書案	上記陳情第10号に係る意見書	原案可決

全国市議会議長会 市議会議員表彰

第97回全国市議会議長会定期総会が開催され、本市議会から2名の方が特別表彰を授与されました。ここにご報告し、お喜びを申し上げます。



10年表彰
川越 信男

- 初当選 平成23年4月24日【3期目】
- 第30代 垂水市議会議員
産業厚生委員長・国道整備促進特別委員長等を歴任



10年表彰
堀内 貴志

- 初当選 平成23年4月24日【3期目】
- 垂水市議会副議長・総務文教委員長
国道整備促進特別委員長等を歴任

～ 議員の主な活動 ～

【令和3年5月～令和3年7月】

- 5月10日(月) 肝属地区教育振興総会（鹿屋市）
- 5月31日(月) 桜島火山活動対策協議会 総会
（鹿児島市）
- 6月22日(火) 国道220号整備促進要望（肝付町）



6/22 国道220号整備促進要望



7/29 県市議会議長会総会
（於：リブマックスリゾート桜島シーフロント）

- 7月13日(火) 公立高等学校募集定数策定等に係る説明会（鹿屋市）
- 7月14日(水) 桜島火山活動対策 県要望
（鹿児島市）
- 7月17日(土) 東九州自動車道 鹿屋-志布志間
開通式（志布志市）
- 7月29日(木) 県市議会議長会総会（垂水市）

庁舎整備検討特別委員会

第2回定例会初日、庁舎整備検討特別委員会が設置され、5月28日及び6月11日に委員会が開催されました。

設置趣旨 現庁舎及び消防庁舎の課題その他を含め、合わせて新庁舎の課題を検討する。

委員構成 議長を除く議員13名。ただし、議長もオブザーバーとして参加する。

委員長・感王寺 耕 造
副委員長・池 山 節 夫

進め方 協議は庁舎整備検討委員会、審査は総務文教委員会で行う。

5月28日開催

外部検討委員会の設置・耐震診断業務委託について

協議内容 令和3年4月1日に設置された「垂水市庁舎等のあり方検討委員会」について、設置の目的や経過を市当局が報告。委員の構成や選考基準について質疑が交わされた。

また、現在、本庁舎・別館・消防庁舎で実施している耐震診断業務委託について、耐震診断の委託内容や作業手順、進捗状況を市当局が報告。映像を用いた説明も行われ、委員との質疑が交わされた。

議案第46号「令和3年度一般会計補正予算（第3号）案」中の庁舎関連費目の協議について

協議内容 議案第46号中、庁舎関連費目である委託料「垂水市新庁舎整備基本条件調査研究委託」について協議。

補正理由 外部検討委員会が必要となる検討資料・新たな条件整理、現庁舎敷地と市民館敷地のプランの実現性の検討に必要な基本条件調査を実施するため。

6月11日開催

耐震補強計画策定に係る補助金申請の仮要望について

協議内容 現在実施している耐震診断の結果、仮に現庁舎等に耐震補強が必要になった場合、財源確保の観点から国庫補助事業の活用が考えられる。

しかし、本要望を行うためには、「6月中の仮要望の申請」が必要であるため、当委員会で申請の了承について協議した。

補助金 国庫補助金「地域防災拠点建築物整備緊急促進事業補助金」補助率1/2

備考 耐震診断の結果を踏まえ、外部検討委員会・庁舎整備検討特別委員会での議論等の結果、耐震補強計画の必要性がない又は耐震補強を実施しないと判断された場合、本要望は取り下げる。

協議結果 仮要望の申請を了承

お知らせ

請願・陳情の押印が不要になりました！

請願・陳情をご検討の方にお知らせです。

これまで、議会へ提出される請願書（議員の紹介が必要）や陳情書（議員の紹介不要）には、提出者の押印が必要でしたが、垂水市議会会議規則の改正により、不要になりました。これは昨年、「地方公共団体における押印見直しマニュアル」が内閣府から示されたことを受け、本市議会の規則の一部改正議案である議案第45号が原案可決されたことによるものです。



【特集 第13回】
垂水市の史跡めぐり

殿加神社

殿加神社は垂水小学校裏、城山の
中腹にあります。

垂水島津家初代忠将は42歳の若さ
で福山の地で戦死され、弔うために
二代目似久が永禄8年（1565）
国分の清水に建立しました。4代久
信が寛永2年（1625）再興し、
初めは元垂水の城跡にありましたが
後、現在地に移し、垂水島津代々の
氏神様として崇められてきました。
忠将公は両親の教育によって神儒仏
の三教を体得され、特に孝行を奨励



し、馬頭観音を厚く信仰しました。
佐土原にも大安神社が創建され、天
下大明神と崇められており、垂水で
はのちに殿加大明神と称えるように

なりました。人々は敬意を払い、お
殿加神社と呼んでいます。昭和60年
に再建し、菅原道真を合祀しました。
忠将の戦死した7月12日には、毎年
六月灯が行われています。



市議会へ行こう

令和3年 第3回定例会会期日程（案）

月	火	水	木	金
8/23	24	25	26	27 本会議
30	31	9/1	2	3
6	7 一般質問	8 一般質問	9 産業厚生 委員会	10 総務文教 委員会
13	14	15	16	17 本会議

※本会議は、市役所3階の議会傍聴席にて傍聴できます。
（新型コロナウイルス感染症対策のため、マスク着用の遵守や
傍聴を制限する場合があります。本会議の様子はライブ配信し
ていますので、インターネット中継をご覧ください。）
※委員会の傍聴は、事前に委員長の許可が必要です。
※請願等の受付締切日は、議会運営委員会前日の8月19日です。
※8月27日、9月17日の本会議は午前10時から、一般質問
及び各委員会は午前9時30分からの開会予定です。
※日程は変更になる場合がありますので、議会事務局までお問い
合わせください。



市議会だより 編集委員会

- 委員長 堀内 貴志
- 副委員長 森 武一
- 委員 篠原 静則
- 池田 みずす
- 前田 隆
- 新原 勇

編集後記

終息の見えないコロナ禍が続いて
おりますが、ワクチン接種も高齢者
から順次始まっており、希望する人
全員が打ち終わる日が早く来ること
を祈っております。

また、この「議会だより」がお手
元に届くころは、東京オリンピック
が世界の人々に夢と感動を与え、成
功裏に終わっていることと思います。
さて、市議会は5月の臨時会で新
たに議長・副議長を選出し、委員会
構成も一新いたしました。

6月議会では庁舎等整備検討特別
委員会も設置しました。
庁舎問題は市民の付託に応え、建
設的な議論を展開し、いい結論を導
き出す議会でありたいと思います。
今後とも議会情報誌「市議会だより」
のご愛読をよろしく願います。